

堺市道路標識等維持管理計画

堺市 土木監理課

2026年3月

< 目 次 >

1. 計画の位置付け.....	-1-
2. 対象施設の現状.....	-1-
3. 計画期間	-2-
4. 維持管理の基本的な考え方	-3-
5. 対策の優先順位の考え方	-4-
6. 新技術の活用方針と費用縮減の取組.....	-4-
7. 対策内容と実施時期	-5-

1. 計画の位置付け

本市では、インフラ長寿命化基本計画に基づき、「堺市公共施設等総合管理計画」を2016年8月に策定（2022年3月改訂）した。

本計画は、堺市公共施設等総合管理計画に基づき、道路標識等の計画的な維持管理の方針を定めた「施設ごとの個別施設計画」であり、以下の通り位置付ける。

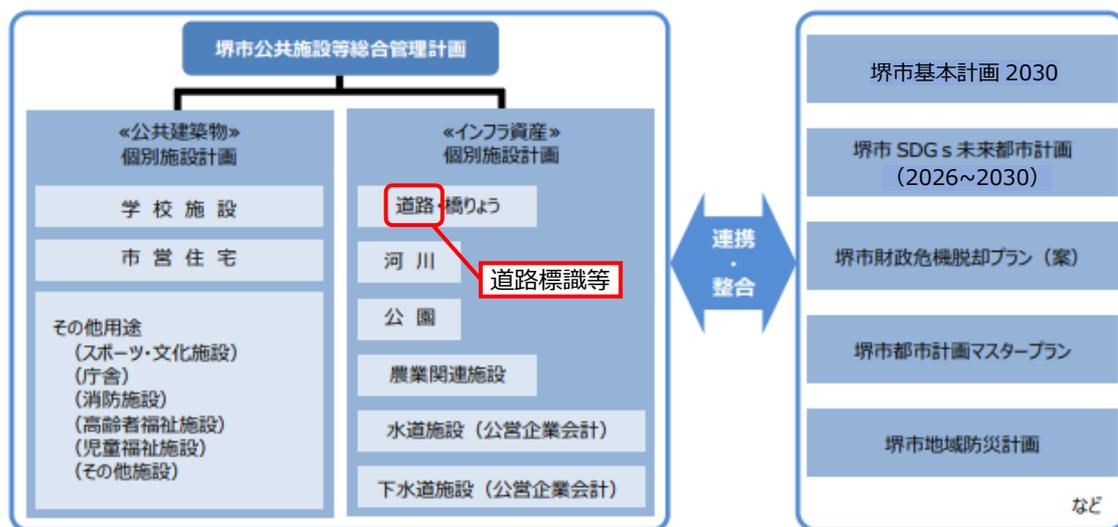


図-1 本計画の位置付け

2. 対象施設の現状

本計画の対象施設は、道路における大型標識、道路情報提供装置及び小型標識（まとめて、道路標識等という。）とする。ただし、道路情報提供装置における機器設備部分は対象外とする。

表-1 対象施設一覧

対象施設	数量	備考
大型標識（門型標識）	70 基	
大型標識（門型標識以外）	1,985 基	
小型標識	2,342 基	

大型標識 (門型標識)					
	門型標識	道路情報提供装置			
大型標識 (門型標識以外)					
	F型標識	逆L型標識	テーパポール型標識	T型標識	添架式標識
小型標識					
	単柱式標識	添架式標識			

図-2 対象施設の例（分類は本計画における標識分類）

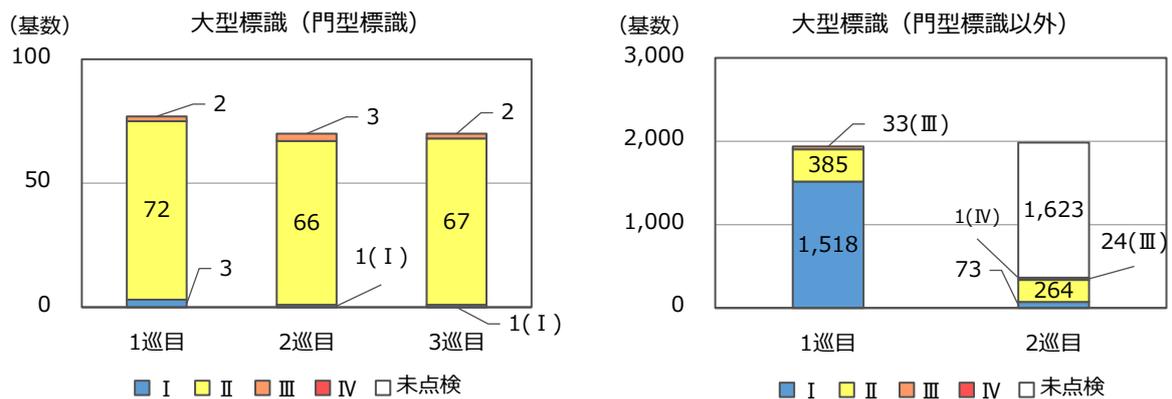


図-3 定期点検の結果

表-2 点検結果に基づく措置状況

施設	Ⅲ・Ⅳ判定基数	対策数	措置率
大型標識 (門型標識)	3基 (2巡目 R1・R2点検)	3基	100%
大型標識 (門型標識以外)	33基 (1巡目 H26～R1点検)	33基	100%

3. 計画期間

2026年度から2035年度までの10年間を計画期間とする。ただし、計画期間内であっても、5年ごとを目途に必要な応じて見直すものとする。

4. 維持管理の基本的な考え方

道路標識等の損傷が深刻な状態にまで進行した場合、第三者被害が発生する恐れがある。また、特に大型標識（門型標識）の更新には多くの費用を要する。

そのため、定期的な点検等を実施して損傷の早期発見を図り、劣化が著しく進行してから修繕・更新する「事後保全」による管理の考え方だけでなく、損傷が深刻化する前に補修を行う「予防保全」による管理の考え方も取り入れることで、道路交通の安全確保や維持管理費用の平準化を図る。

表-3 点検サイクル等

	点検頻度	大型標識 (門型標識)	大型標識 (門型標識以外)	小型標識
法定点検※1	5年ごと	70基	-	-
法定外点検	10年ごと	-	1,985基	-
日常パトロール等	日常	70基	1,985基	2,342基

※1 道路法施行規則第4条の5の6の規定に基づき行う点検

						補修検討段階	対象施設
		I 健全	II 予防保全 段階	III 早期処置 段階	IV 緊急措置 段階		
予防保全管理	補修実施 時期					損傷が比較的軽微な段階	大型標識（門型標識）
事後保全管理						安全上の問題が生じる前の段階	大型標識（門型標識以外） 小型標識
更新型管理					対策	緊急に措置を講ずべき段階	-

図-4 管理目標（補修時期の目安）

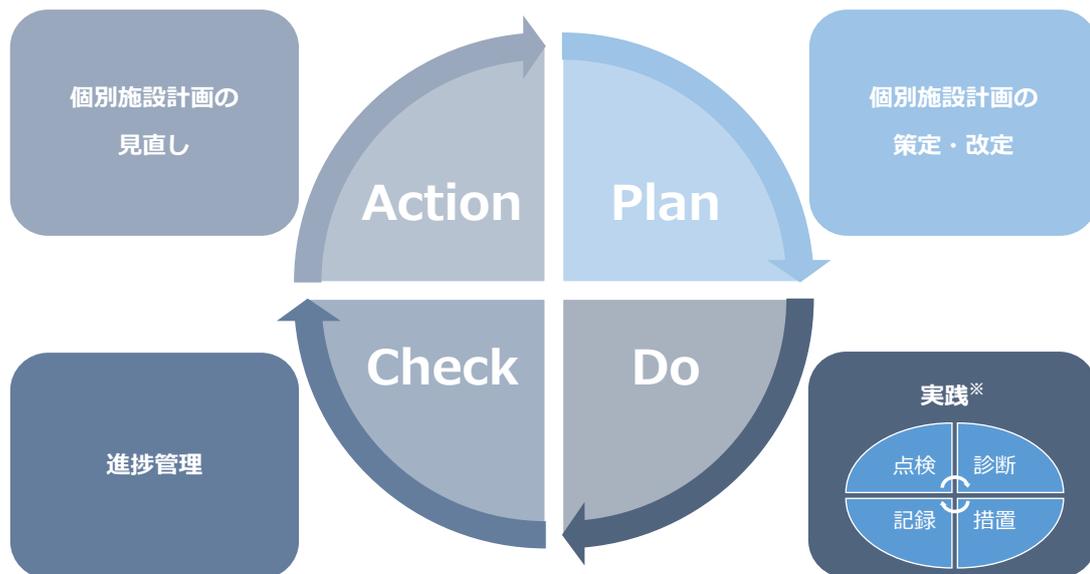


図-5 PDCA サイクル

- ※ 点検：通常点検、定期点検、異常時点検、詳細点検・調査を行う
- 診断：定期点検等の結果に基づき、I～IVの4段階で評価する。
- 措置：点検結果に基づき、環境条件、構造形式、損傷箇所、損傷の状態等を踏まえ、新技術の活用を検討し最適な工法を選定する。
- 記録：点検・措置内容を記録する。

5. 対策の優先順位の考え方

道路標識等の対策については、点検により把握した施設の健全性、標示内容の視認性、緊急交通路や交通量等の道路特性、設置からの経年数を踏まえ決定する。また、対策時期が重なる場合は、費用の平準化を図るため、道路標識等の損傷状況、路線の重要性、交通量等を考慮し、社会的影響が大きい箇所を優先する。

6. 新技術の活用方針と費用縮減の取組

6-1. 新技術の活用方針

新技術の活用により、コスト縮減や点検・対策の効率化が図られるか検討を行う。従来の点検手法や対策方法と比較・評価の上、適用性、安全性、活用効果等を精査し、有効である場合は新技術を採用する。

6-2. 費用縮減に関する具体的な方針（新技術の活用）

新技術を活用については、点検の効率化や対策の省力化等による費用・工期の縮減、効率性向上等において従来技術と比較を行い、総合的に判断する。また、新技術の活用により、2026年度から2035年度の10年間において、全体で約1%程度の費用縮減をめざす。

6-3. 費用縮減に関する具体的な方針（集約化・撤去）

道路標識等は、交通の円滑化や交通事故の防止のために設置されており、集約化・撤去には十分な検討が必要である。

大型標識については、独立的に設置されているものが多く、大型標識の設置状況を鑑みると、現時点では集約化・撤去を行うことは困難である。

小型標識については、路面標示や信号機等と補完的に設置されているものもことから、設置状況を鑑み、集約化・撤去を行う。

集約化・撤去については、周辺の状況や施設の利用状況の変化を注視し、引き続き検討を行う。

7. 対策内容と実施時期

以上を踏まえ、対策内容と実施時期を別紙1、別紙2の通り定める。なお、今後の点検の結果や情勢の変化等に臨機に対応し、適宜見直すこととする。

附則

この計画は、堺市標識等維持管理計画（2017年3月策定）の内容を見直し、2026年4月1日から施行する。

■点検・対策予定

施設分類	年度										主な対策	概算対策費用 (千円)	
	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035			
大型標識 (門型標識)				●	● □	□				●	● □	部材交換	15,000 (10基/年程度)
大型標識 (門型標識以外)	● □	● □	● □	● □	● □	● □	● □	● □	● □	● □	● □	部材交換 更新	400,000 (10基/年程度)
小型標識	● □	● □	● □	● □	● □	● □	● □	● □	● □	● □	● □	更新	20,000 (5基/年程度)
	□ : 点検、● : 対策										合計	1,500,000	

※本予定は、計画策定時点のものであり、点検結果、周囲の状況変化、予算措置状況等を踏まえ、適宜見直し実行する

■点検・対策予定（大型標識（門型標識））

管理番号	路線名	所管事務所	支柱形式	点検			対策										主な対策	概算対策費用 (千円)	
				判定区分	直近年度	次回年度	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035			
堺-3100-0009	(国)310号	西部	門型式	Ⅱ	2024	2029					□					□			
東-0362-0010	(主)泉大津美原線(新)	北部	門型式	Ⅱ	2025	2030						□					□		
中-0362-0004	(主)泉大津美原線(新)	南部	門型式	Ⅱ	2025	2030						□					□		
中-0362-0020	(主)泉大津美原線(新)	南部	門型式	Ⅱ	2025	2030						□					□		
中-0362-0021	(主)泉大津美原線(新)	南部	門型式	Ⅱ	2025	2030						□					□		
中-0362-0033	(主)泉大津美原線(新)	南部	門型式	Ⅱ	2025	2030						□					□		
西-0362-0001	(主)泉大津美原線(新)	西部	門型式	Ⅱ	2025	2030						□					□		
西-0362-0015	(主)泉大津美原線(新)	西部	門型式	Ⅱ	2025	2030						□					□		
西-0362-0017	(主)泉大津美原線(新)	西部	門型式	Ⅱ	2025	2030						□					□		
中-0610-0003	(主)堺かつらぎ線	南部	門型式	Ⅱ	2025	2030						□					□		
中-0610-0005	(主)堺かつらぎ線	南部	門型式	Ⅱ	2025	2030						□					□		
中-0610-0007	(主)堺かつらぎ線	南部	門型式	Ⅱ	2025	2030						□					□		
中-0610-0008	(主)堺かつらぎ線	南部	門型式	Ⅱ	2025	2030						□					□		
南-0610-0008	(主)堺かつらぎ線	南部	門型式	Ⅱ	2025	2030						□					□		
堺-0300-0006	(主)大阪和泉泉南線	西部	門型式	Ⅱ	2024	2029					□					□			
堺-0300-0008	(主)大阪和泉泉南線	西部	門型式	Ⅱ	2024	2029					□					□			
堺-0300-0010	(主)大阪和泉泉南線	西部	門型式	Ⅱ	2024	2029					□					□			
堺-0300-0011	(主)大阪和泉泉南線	西部	門型式	Ⅱ	2024	2029					□					□			
堺-0300-0023	(主)大阪和泉泉南線	西部	門型式	Ⅱ	2024	2029					□					□			
堺-0300-0025	(主)大阪和泉泉南線	西部	門型式	Ⅱ	2024	2029					□					□			
堺-0300-0038	(主)大阪和泉泉南線	西部	門型式	Ⅱ	2024	2029					□					□			
堺-0300-0040	(主)大阪和泉泉南線	西部	門型式	Ⅱ	2024	2029					□					□			
堺-0120-0004	(主)堺大和高田線	西部	門型式	Ⅱ	2025	2030						□					□		
堺-0340-0012	(主)堺狭山線	西部	門型式	Ⅲ	2024	2029					□					□			
堺-0340-0014	(主)堺狭山線	西部	門型式	Ⅱ	2024	2029					□	●				□		部材交換	500
堺-0340-0015	(主)堺狭山線	西部	門型式	Ⅱ	2024	2029					□	●				□		部材交換	500
西-0340-0004	(主)堺狭山線	西部	門型式	Ⅱ	2024	2029					□	●				□		部材交換	500
西-0340-0006	(主)堺狭山線	西部	門型式	Ⅱ	2024	2029					□					□			
西-0340-0012	(主)堺狭山線	西部	門型式	Ⅲ	2024	2029					□	●				□		部材交換	500
西-0340-0017	(主)堺狭山線	西部	門型式	Ⅱ	2024	2029					□	●				□		部材交換	500
西-0340-0024	(主)堺狭山線	西部	門型式	Ⅱ	2024	2029					□	●				□		部材交換	500
西-0340-0025	(主)堺狭山線	西部	門型式	Ⅱ	2024	2029					□	●				□		部材交換	500
中-0340-0005	(主)堺狭山線	南部	門型式	Ⅱ	2024	2029					□	●				□		部材交換	500
中-0340-0013	(主)堺狭山線	南部	門型式	Ⅱ	2024	2029					□	●				□		部材交換	500
中-0340-0016	(主)堺狭山線	南部	門型式	Ⅱ	2024	2029					□	●				□		部材交換	500
中-0340-0021	(主)堺狭山線	南部	門型式	Ⅱ	2024	2029					□	●				□		部材交換	500
南-0340-0003	(主)堺狭山線	南部	門型式	Ⅱ	2024	2029					□					□	●	部材交換	500
北-0020-0011	(主)大阪中央環状線	北部	門型式	Ⅱ	2024	2029					□					□	●	部材交換	500

管理番号	路線名	所管事務所	支柱形式	点検			対策										主な対策	概算対策費用 (千円)	
				判定区分	直近年度	次回年度	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035			
北-0020-0018	(主)大阪中央環状線	北部	門型式	Ⅱ	2024	2029					□					□	●	部材交換	500
北-0020-0033	(主)大阪中央環状線	北部	門型式	Ⅱ	2024	2029					□					□	●	部材交換	500
北-0020-0035	(主)大阪中央環状線	北部	門型式	Ⅱ	2024	2029					□					□	●	部材交換	500
北-0020-0037	(主)大阪中央環状線	北部	門型式	Ⅱ	2024	2029					□					□	●	部材交換	500
美原-0020-0001	(主)大阪中央環状線	北部	門型式	Ⅱ	2024	2029					□					□	●	部材交換	500
北-0282-0019	(主)大阪高石線(新)	北部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□					□			
北-0282-0022	(主)大阪高石線(新)	北部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□					□			
北-0282-0025	(主)大阪高石線(新)	北部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□					□			
北-0282-0027	(主)大阪高石線(新)	北部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□					□			
西-0282-0016	(主)大阪高石線(新)	西部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□					□			
堺-0291-0009	(主)大阪臨海線(現)	西部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□	●				□		部材交換	500
堺-0291-0017	(主)大阪臨海線(現)	西部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□	●				□		部材交換	500
西-0291-0003	(主)大阪臨海線(現)	西部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□	●				□		部材交換	500
西-0291-0005	(主)大阪臨海線(現)	西部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□	●				□		部材交換	500
西-0291-0007	(主)大阪臨海線(現)	西部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□	●				□		部材交換	500
西-0291-0017	(主)大阪臨海線(現)	西部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□	●				□		部材交換	500
南-0381-0018	(主)富田林泉大津線(現)	南部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□					□			
西-0291-0021	(主)大阪臨海線(現)	西部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□	●				□		部材交換	500
堺-1950-0004	(一)堺港線	西部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□					□			
美原-0322-0001	(主)美原太子線(新)	北部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□					□			
西 215	(市)臨海 1 号線	西部	門型式	I	2025	2030					□					□			
情報板 1	(主)大阪中央環状線	北部	片持式	Ⅱ	2025	2030					□					□			
情報板 2	(主)大阪中央環状線	北部	片持式	Ⅱ	2025	2030					□					□			
情報板 3	(主)大阪高石線(新)	西部	片持式	Ⅱ	2025	2030					□					□			
情報板 4	(主)大阪高石線(新)	西部	片持式	Ⅱ	2025	2030					□					□			
情報板 5	(主)大阪臨海線(現)	西部	片持式	Ⅱ	2025	2030					□	●				□		部材交換	500
情報板 6	(主)大阪臨海線(現)	西部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□	●				□		部材交換	500
情報板 7	(主)大阪臨海線(現)	西部	片持式	Ⅱ	2025	2030					□	●				□		部材交換	500
情報板 8	(主)大阪臨海線(現)	西部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□	●				□		部材交換	500
情報板 9	(主)大阪臨海線(現)	西部	片持式	Ⅱ	2025	2030					□	●				□		部材交換	500
情報板 10	(主)富田林泉大津線(現)	南部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□					□			
情報板 11	(主)富田林泉大津線(現)	南部	門型式	Ⅱ	2025	2030					□					□			
□ : 点検、● : 対策																	合計	15,000	

※本予定は、計画策定時点のものであり、点検結果、周囲の状況変化、予算措置状況等を踏まえ、適宜見直し実行する